

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100912
事業所名	グループホーム でんばあく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入。地域の防災訓練や祭り等の行事参加の際には、席の確保や移動時等の見守りや介助の支援を受けている。 ボランティアの訪問や近隣高校の職場体験の受け入れも行っている。 認知症専門医と連携して、地域向けに褥瘡についての講習会を開催した。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議を二カ月ごとに開催。町内会長、市・包括職員の参加があり、相互に活発な意見交換の場として活用されている。日頃の様子やイベント時の写真を見せ運営状況を詳細に伝え、ホーム取組みへの理解を深めている。地域防災について、ホームが災害時の地域避難所として場所を提供する事で地域と協力体制を深めた。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市職員とは直接話をして相談できる関係を築いている。 グループホーム会や多業種連携会の定期会合に出席し、地域連携に努めている。 市主催の研修に参加し、職員育成に繋げている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 希望する家族とはSNSを通じて日々の様子の写真を送付し、即座に伝えている。 毎月、請求書を含めたホーム便りを発送している。 クリスマス会のイベント後に家族会を行い、家族間交流の場として活用されている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎